

茶畑ウォーキング2016

5月7日(土)、船戸地区で、「船戸活性化委員会『四万十川源流点』」のご協力のもと、「津野町茶畑ウォーキング2016」(船戸地区桂の旧国道沿いの茶畑から道の駅布施ヶ坂までの約6km)を開催しました。

前日までの雨も上がって好天に恵まれた中を、42人の参加者がガイドの説明に耳を傾け、途中で新芽のお茶を手摘みしながら、ウォーキングしました。



また、今回は「トゥクトゥク」(広報5月号で紹介)の乗車体験も行われ、子どもたちを中心に大人気でした。

雨上がりの茶畑は、例年にも増して緑が映え、参加者からも歓声が上がりました。

昼食は、「せいらんの里」で、毎年人気のランチビュッフェを堪能しました。お茶の窯炒りや手もみは、地区の方のわかりやすい手本で、参加者も楽しみながら体験されており、お茶の香りに包まれた1日に大満足の様子でした。

(生涯学習課)

奥四万十学地域連携講座

5月8日(日)、芳生野の吉村虎太郎邸周辺を会場に、奥四万十学地域連携講座が開催されました。

この講座は、重要文化的景観の散策などを通じて、奥四万十文化の魅力を発信していこうと(四万十遺産ネットワークスが主催)するもので、津野町が第1弾となりました。

当日は、高知文化財研究所代表の溝渕博彦氏のガイドによる、文化的景観村並み散策が行われ、吉村虎太郎邸周辺の景観、前を流れる四万十川の裏源流、早瀬の一本橋、諏訪神社など、国指

定の重要文化的景観の説明があり、伝承の大切さなど、熱心にメモをとる参加者もありました。

昼食の後は、早瀬の一本橋で、アコーディオン奏者坂野志麻さんによる演奏会も開催されました。

心地よい川のせせらぎとのどかな景色の中で、坂野さんは「愛の賛歌」などのシャンソンからアニメ映画「ハウルの動く城」のテーマ曲まで、幅広いジャンルの曲を鮮やかな音色で演奏し、参加者も大いに魅了されていました。

(生涯学習課)



休耕田を利用した菜の花の植栽

4月10日の奥四万十博開幕に向けて、国道197号線沿いの休耕田をお借りし、菜の花を植えました。菜の花は4月中頃に満開をむかえ、来客者を気持ちよくおもてなしすることができ、華やかな幕開けとなりました。

ご協力いただきましたみなさん、本当にありがとうございました。(津野町かおりの里づくり推進会議)

